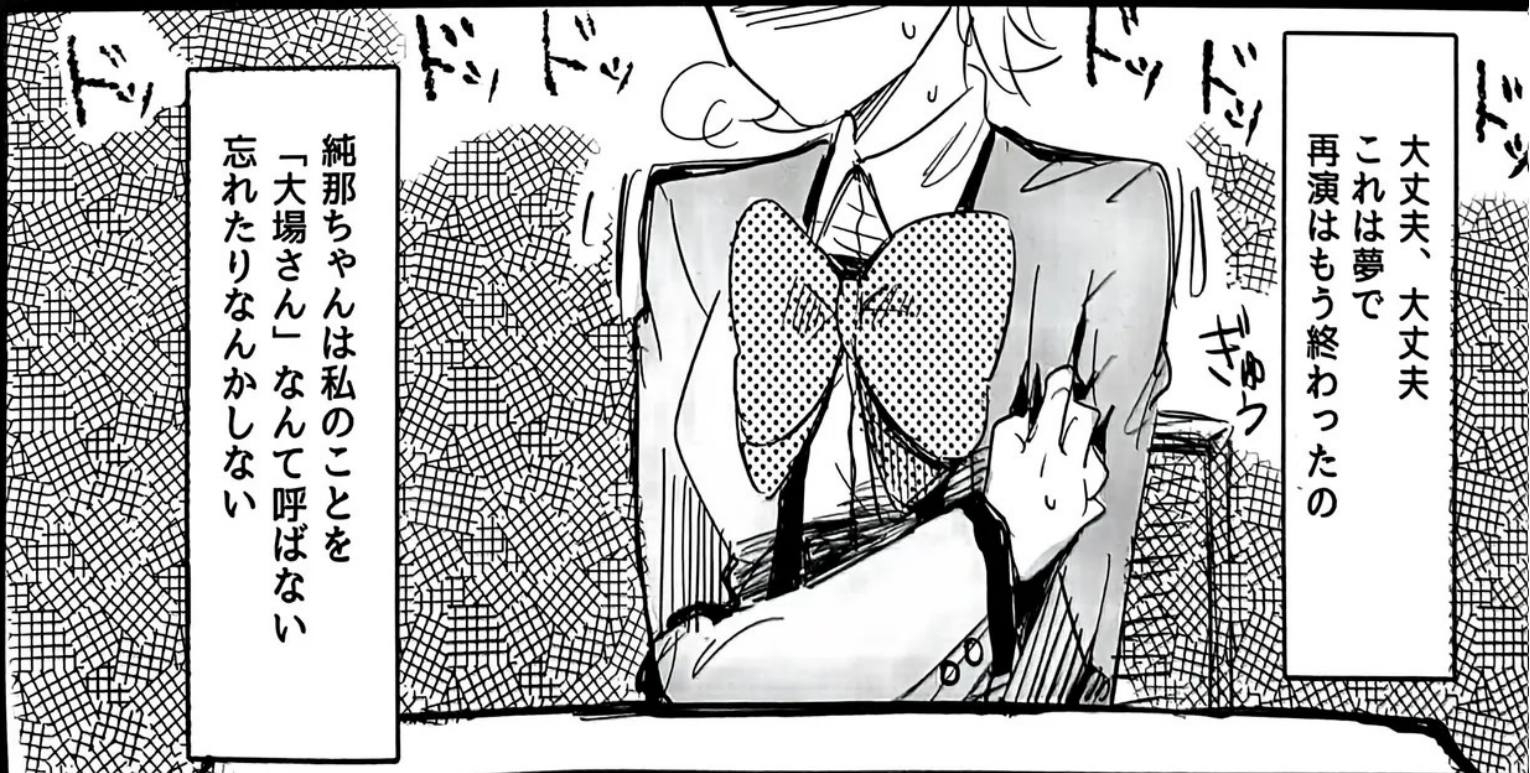
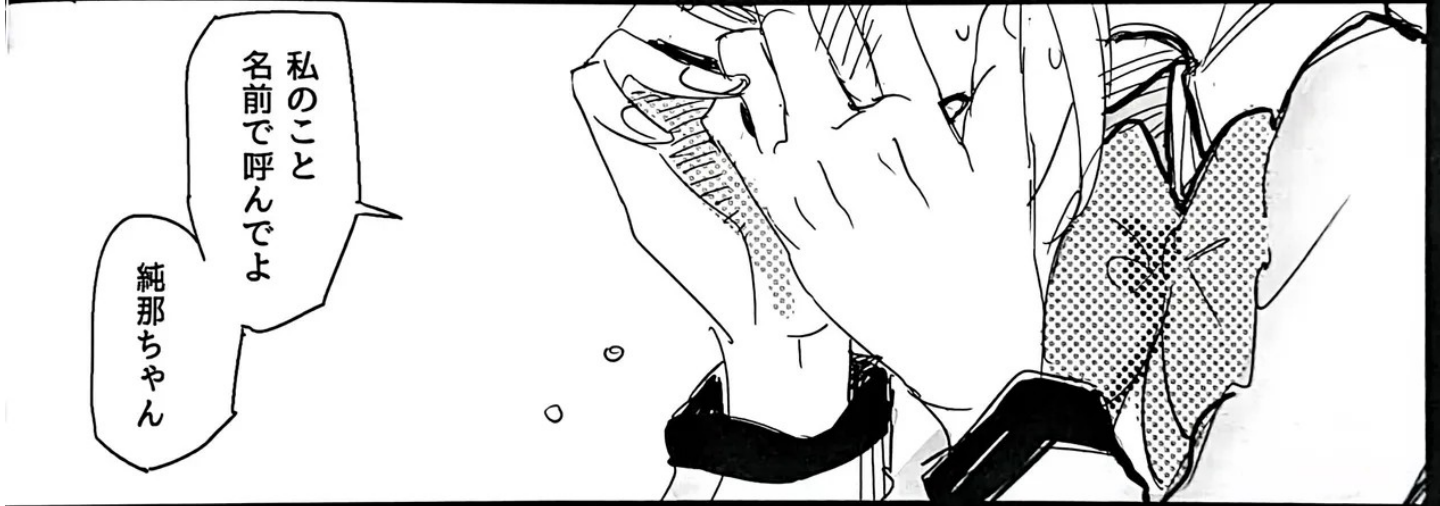
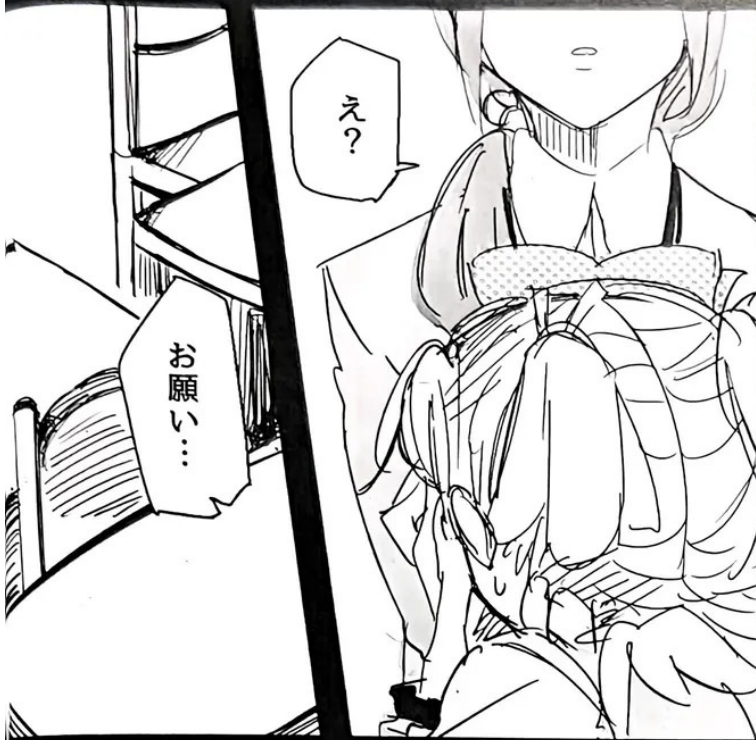


私はキミに
アトをつけたい









純那ちゃ、

——なな

今度は忘れさせないでね
私と貴女の——



また失うことが怖いの
舞台と人は生きもの



うん

うん

私を置いてどこにも行かないで
私を見ていて
私のことを忘れないで

ずっと同じであることは
ありえないから

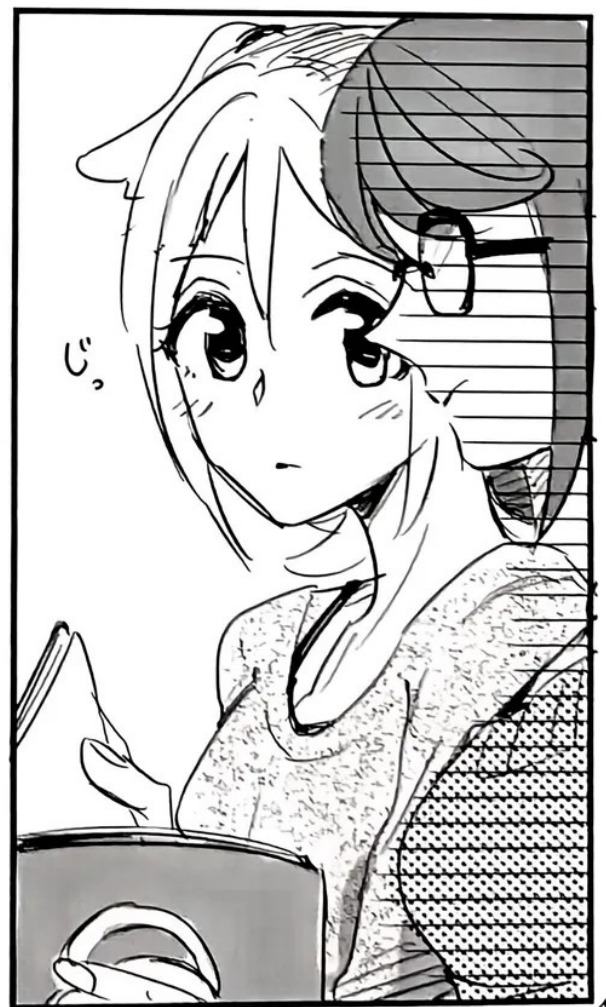


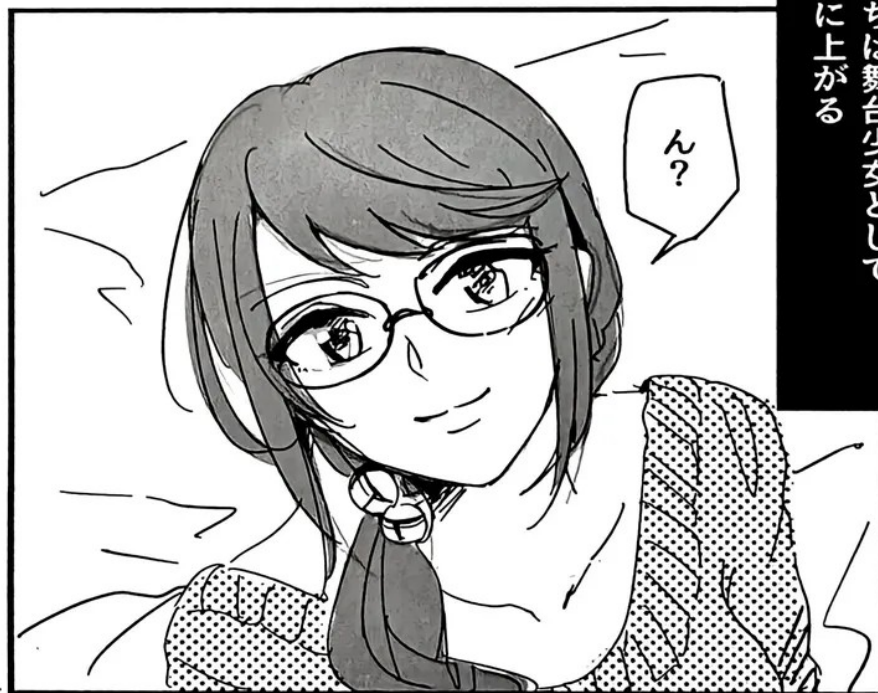
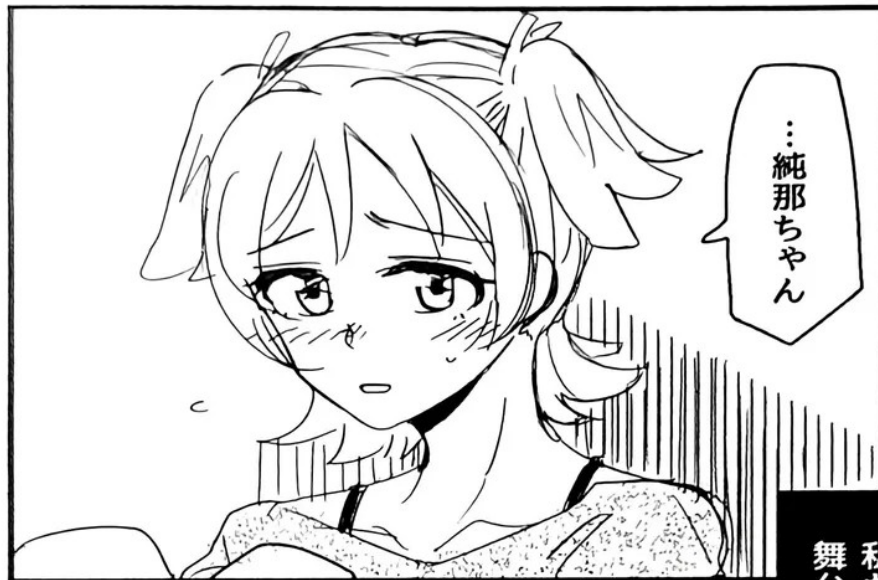
「 私はキミにアトをつけたい 」

純那ちゃん、純那ちゃん

どうしたらいいのかな
どうすれば、怖くなるかな

純那ちゃんはいつだって
私の傍にいてくれるのに
…どうして、こんなにも

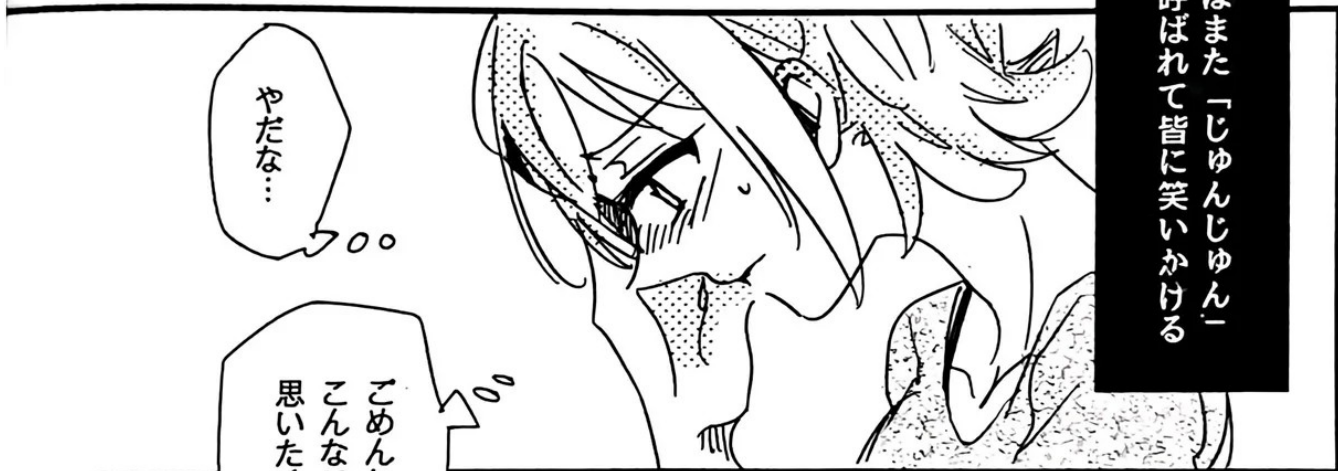




今日は日曜日、また明日から
私たちは舞台少女として
舞台上がる

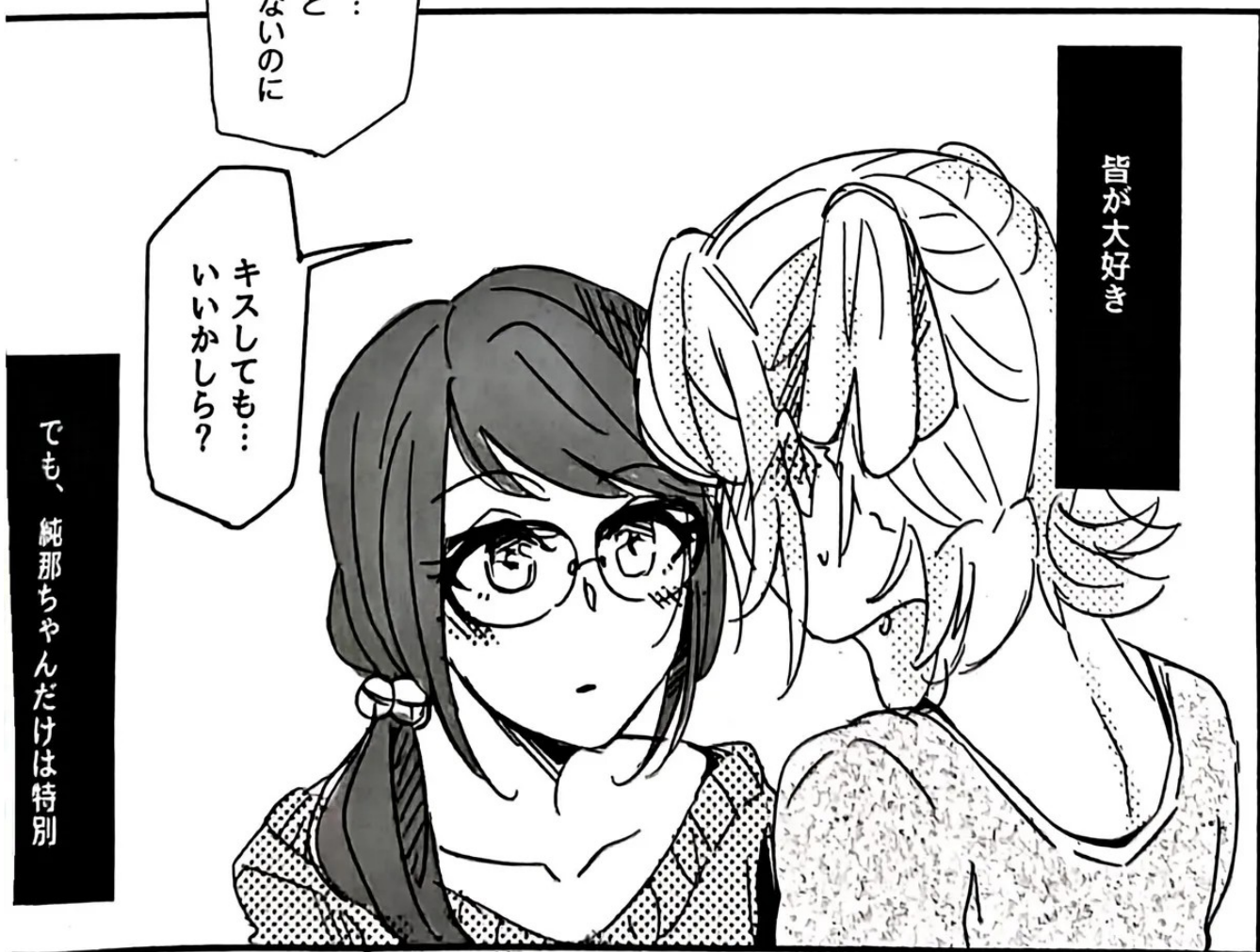


学校ではまた「じゅんじゅん」
なんて呼ばれて皆に笑いかける



やだな…

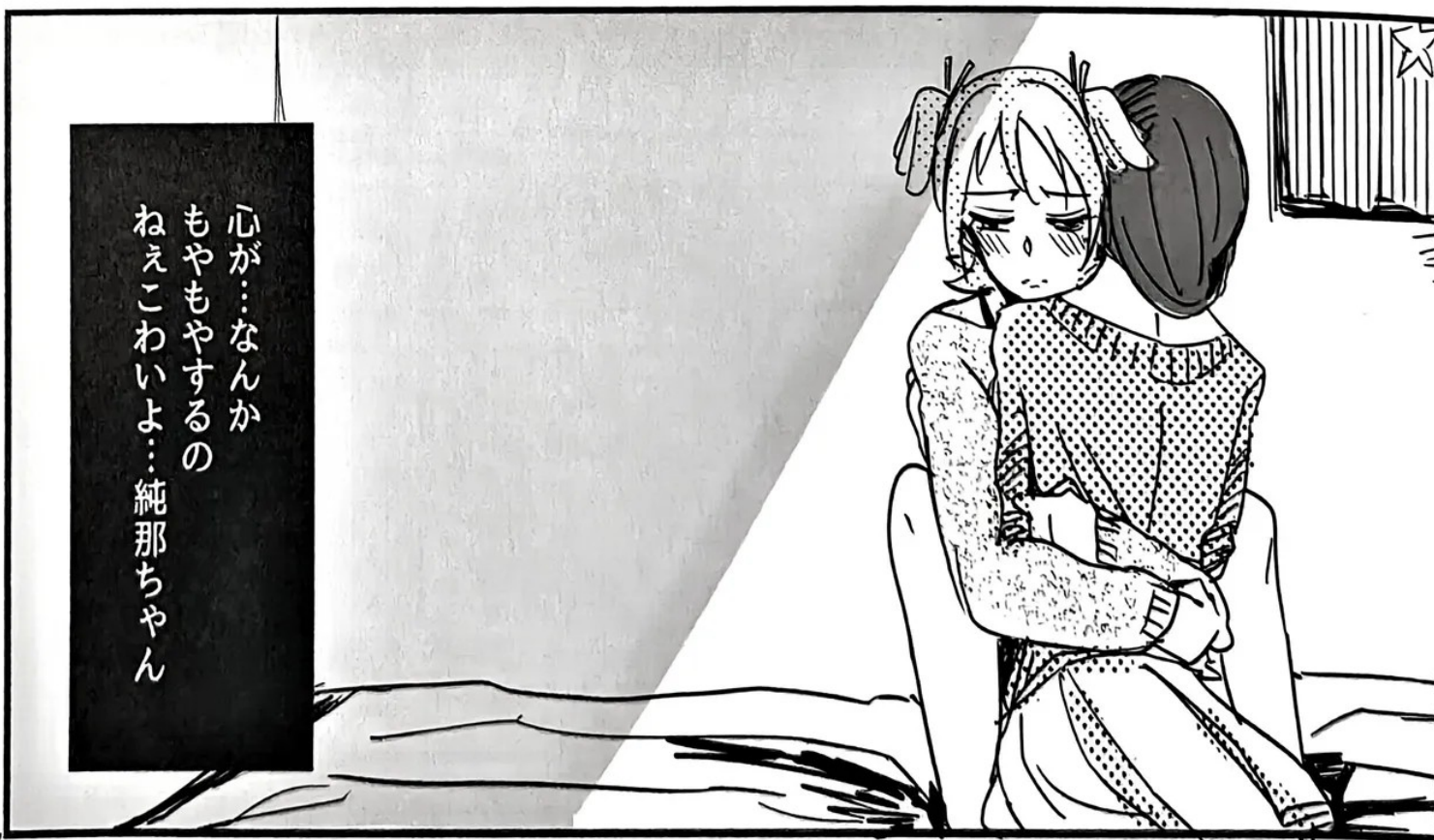
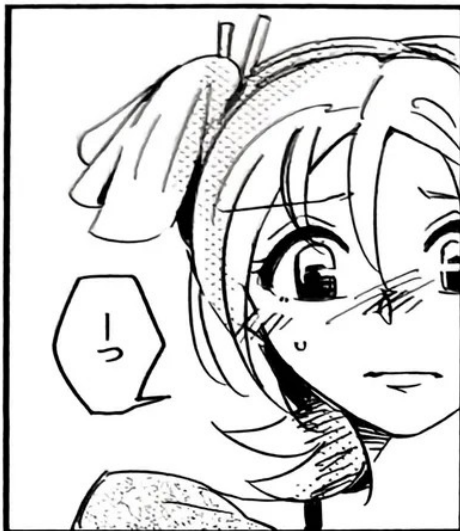
ごめんね…
こんなこと
思いたくないのに

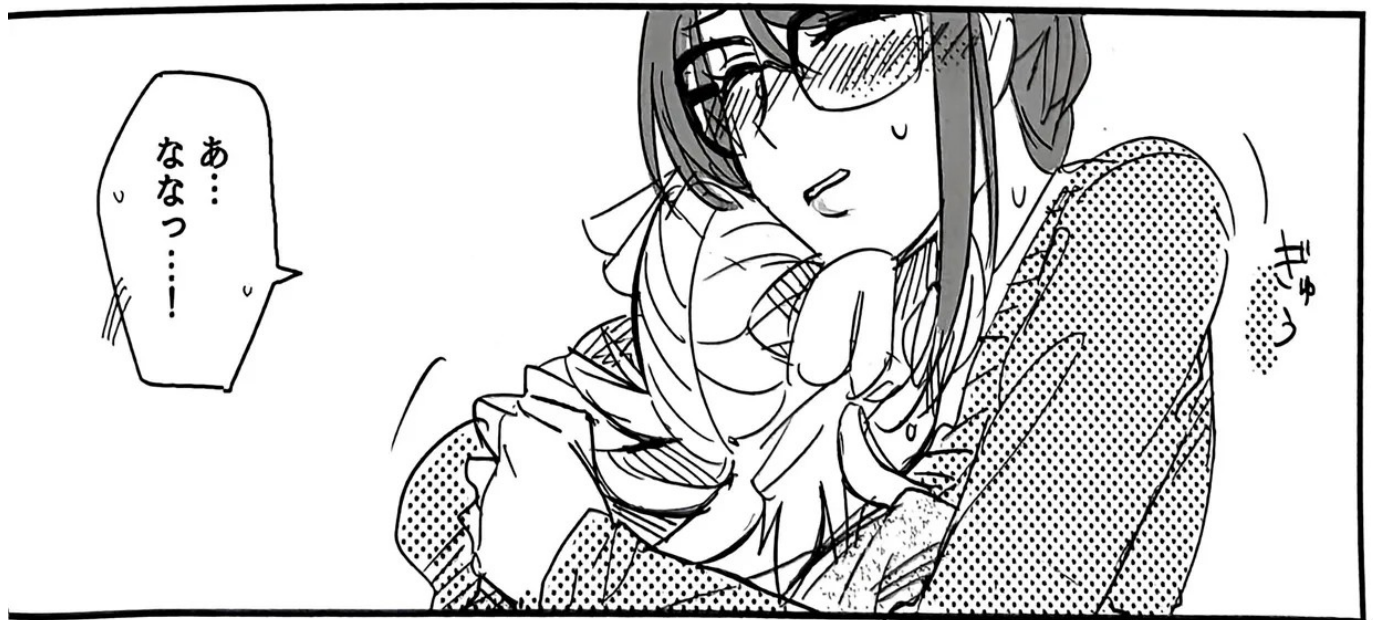


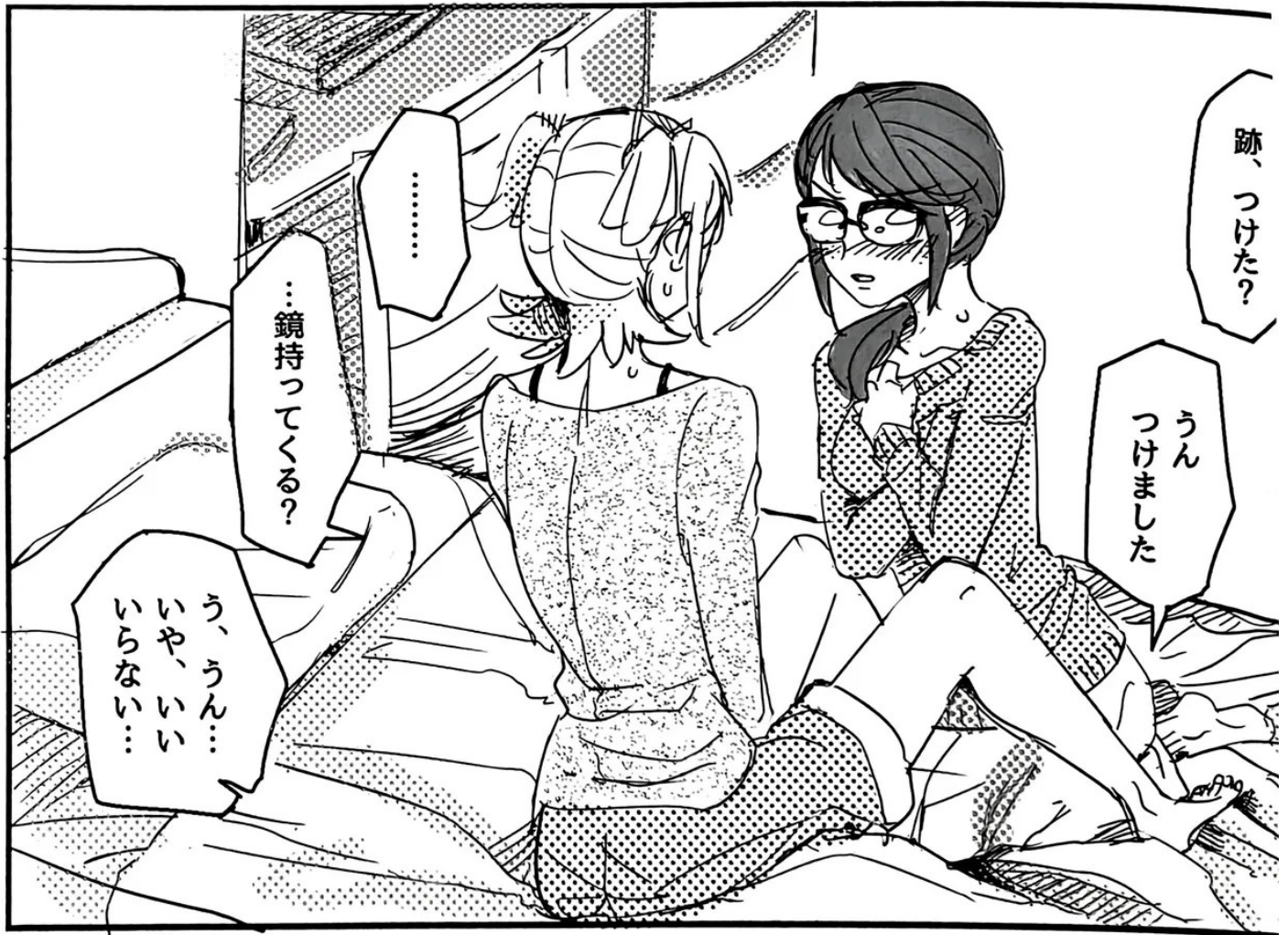
キスしても…
いいかしら？

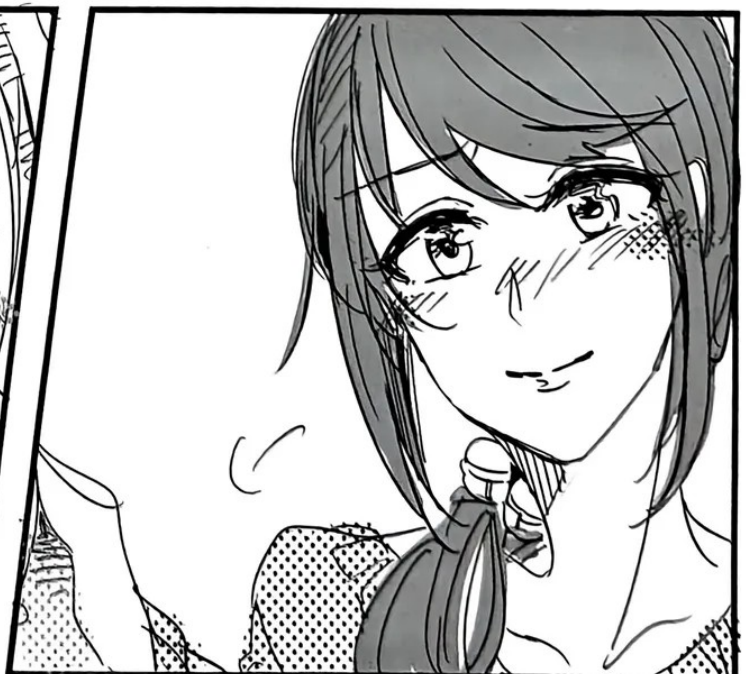
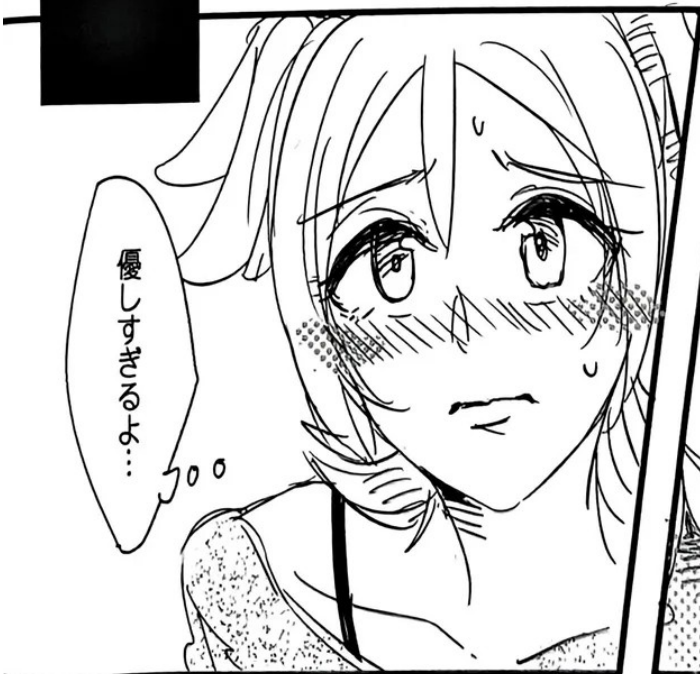
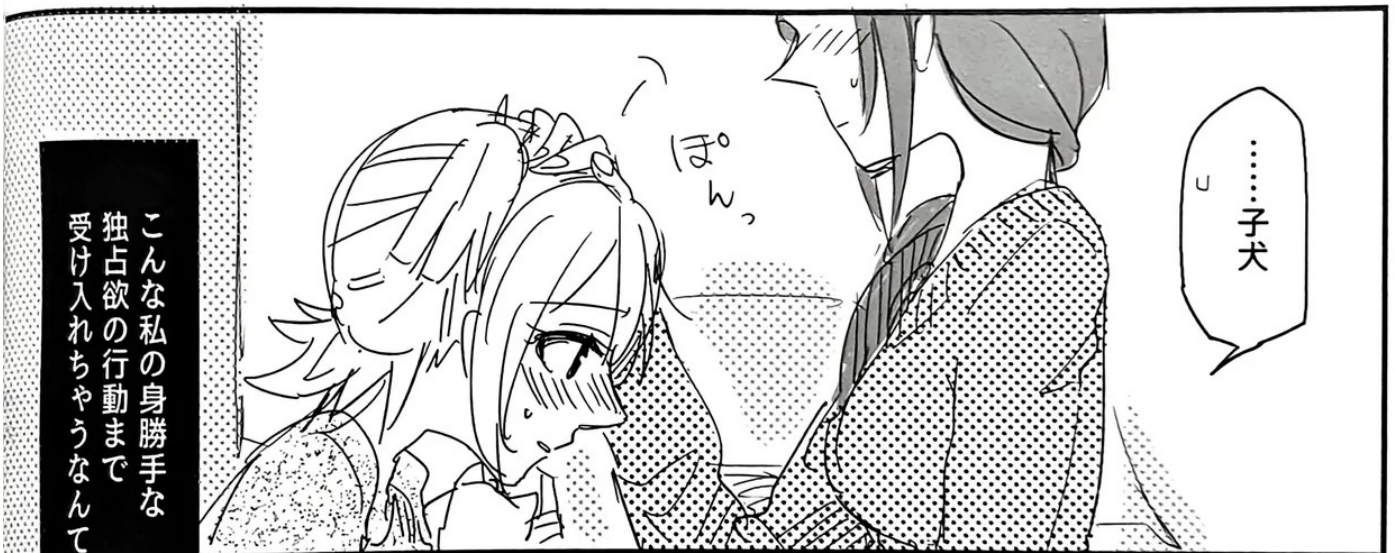
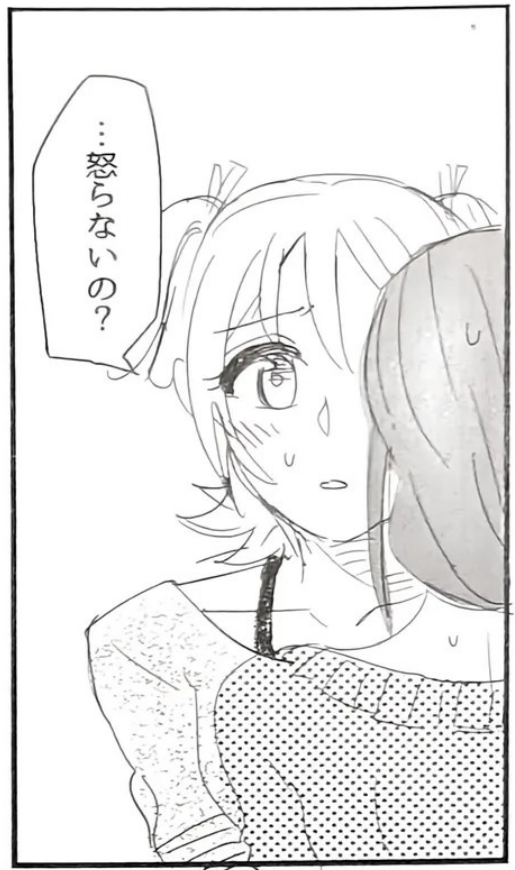
皆が大好き

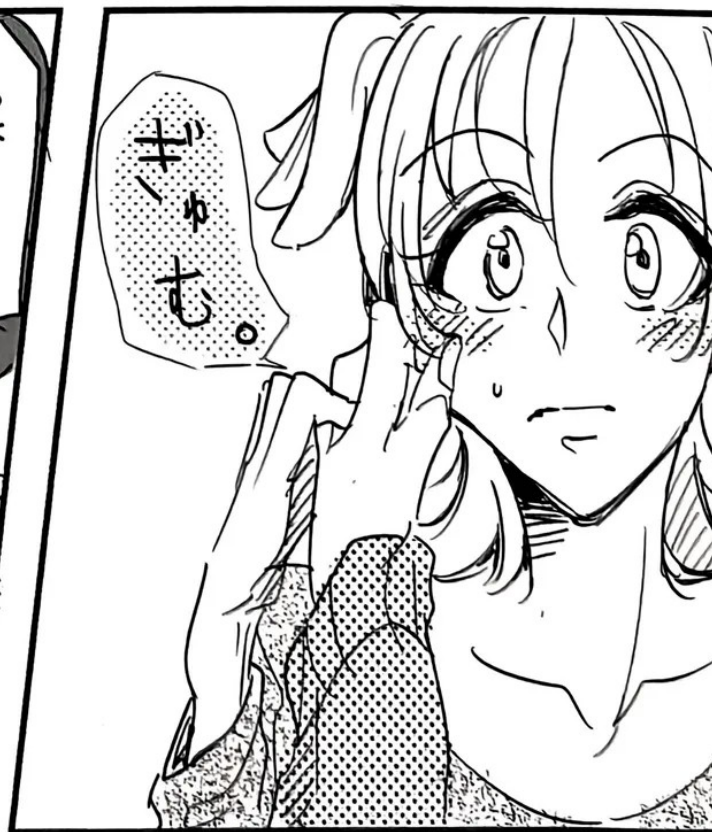
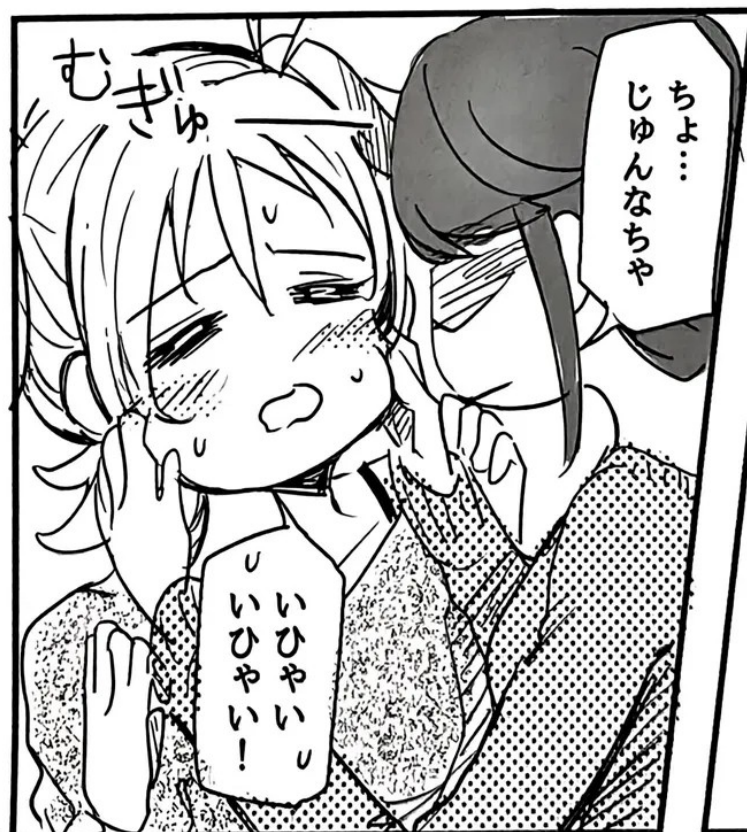
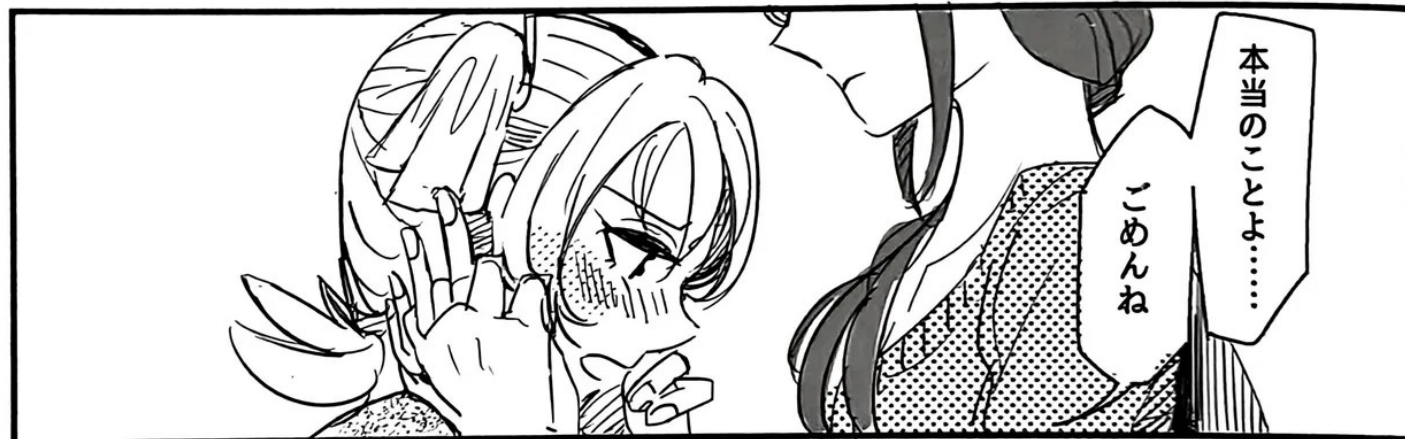
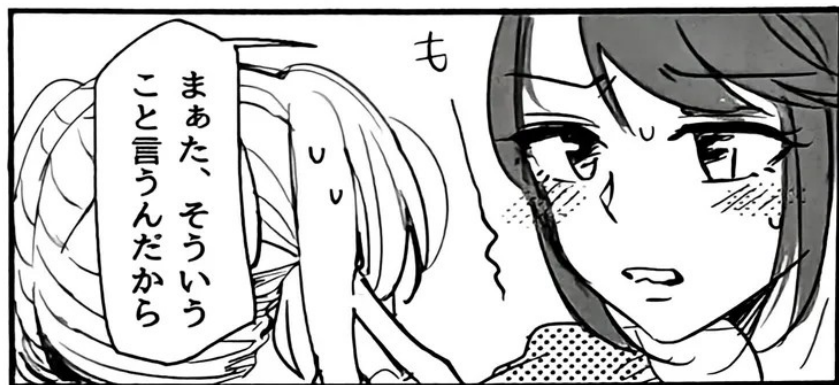
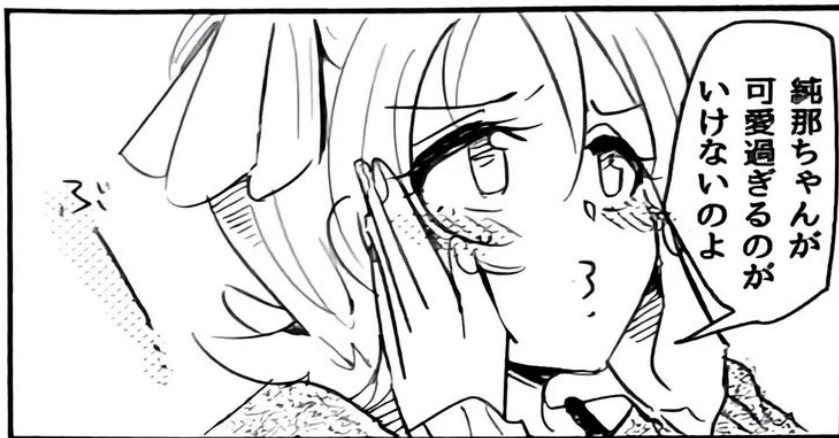
でも、純那ちゃんだけは特別

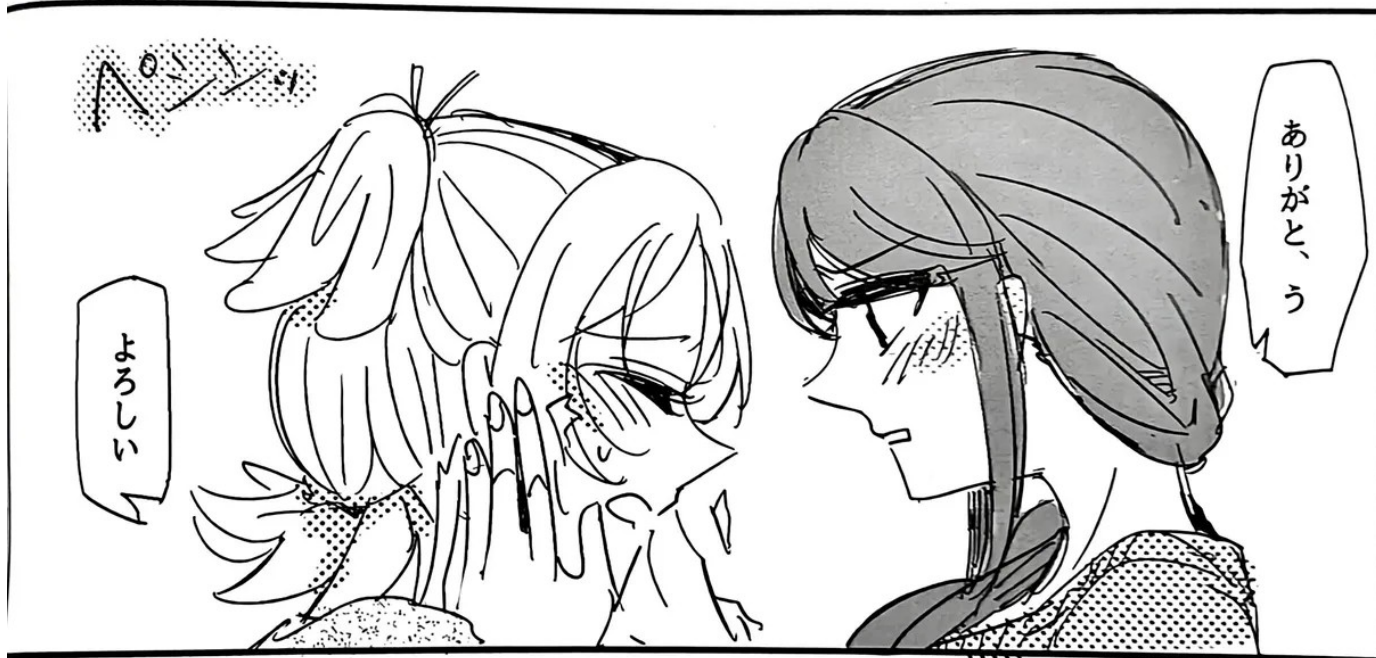


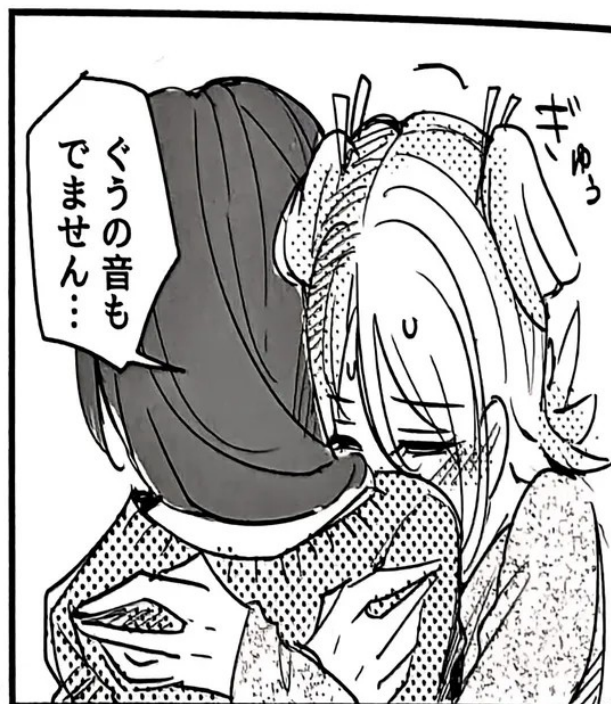
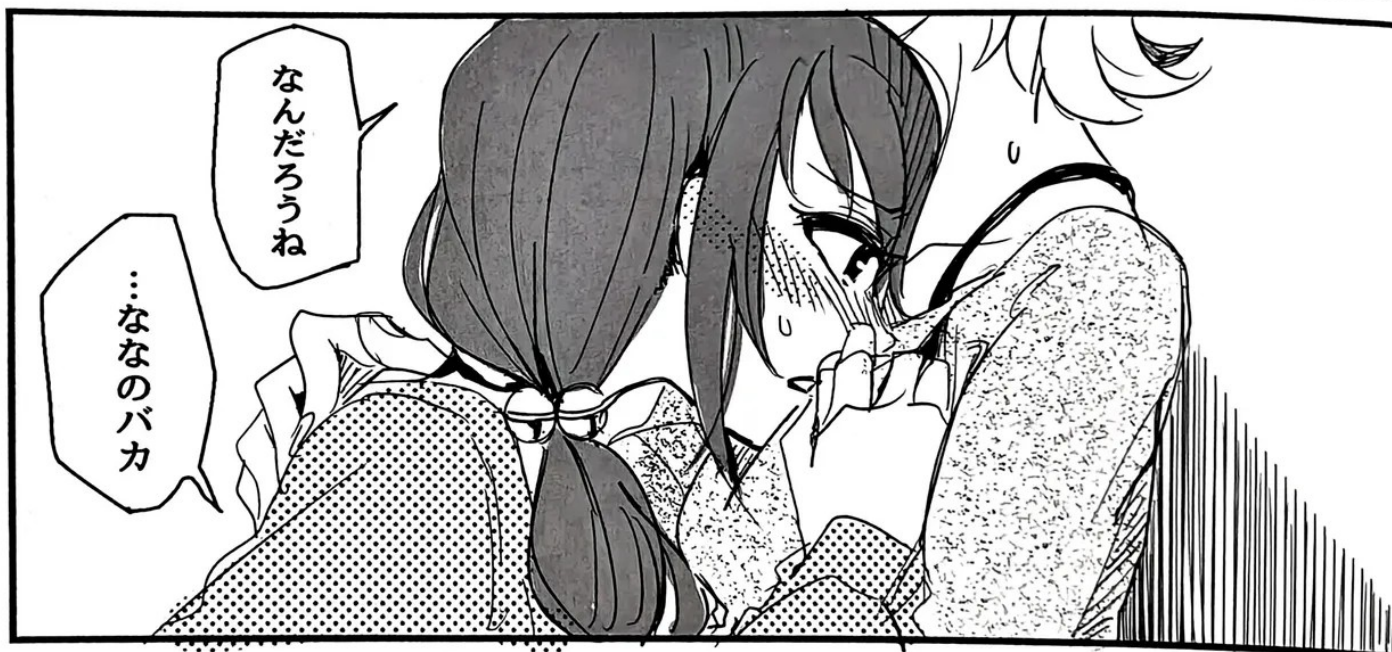


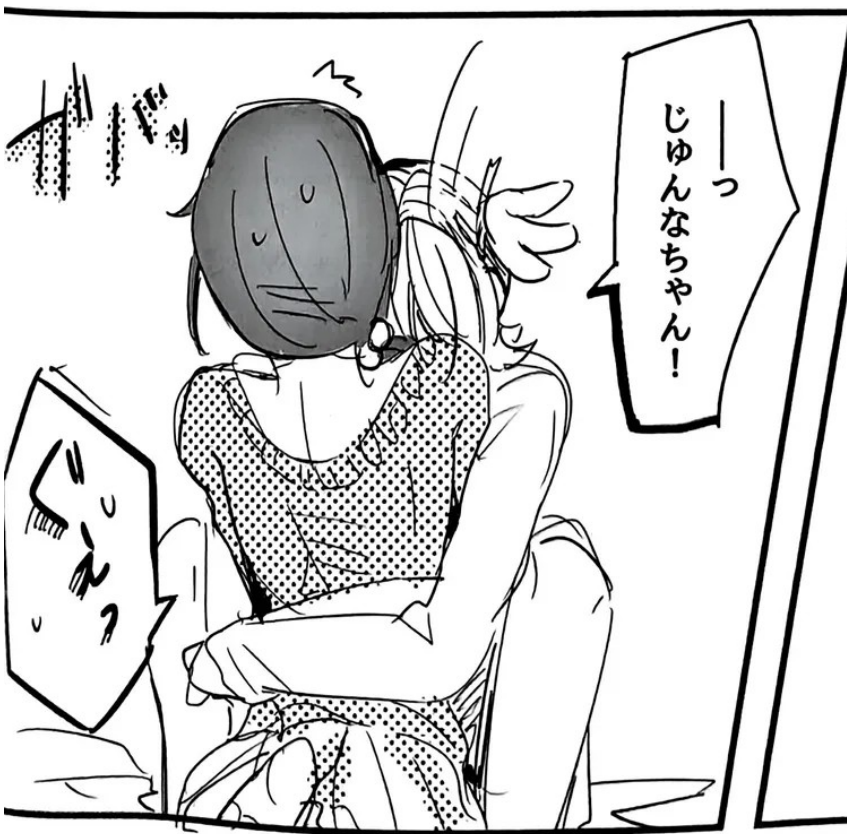


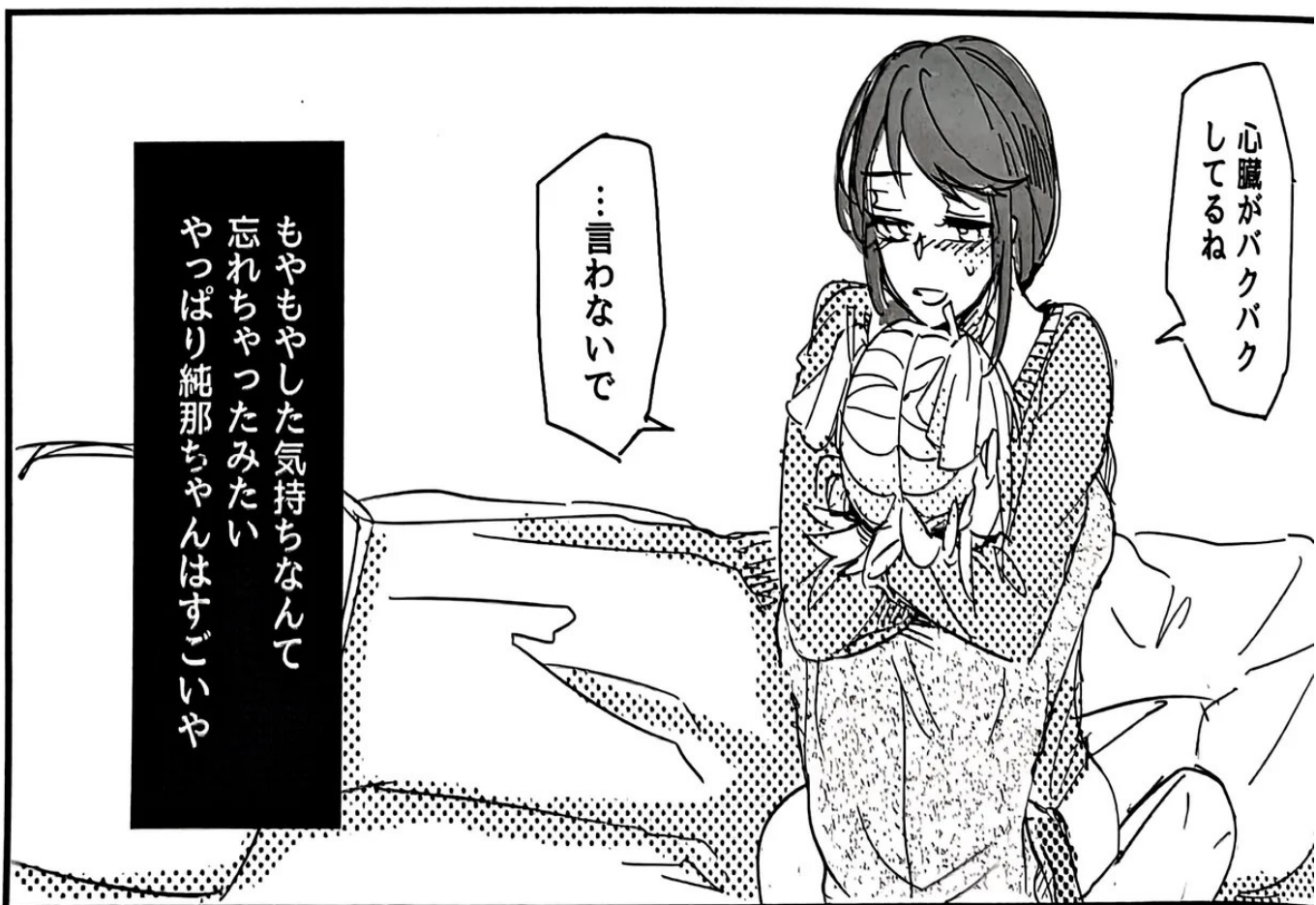
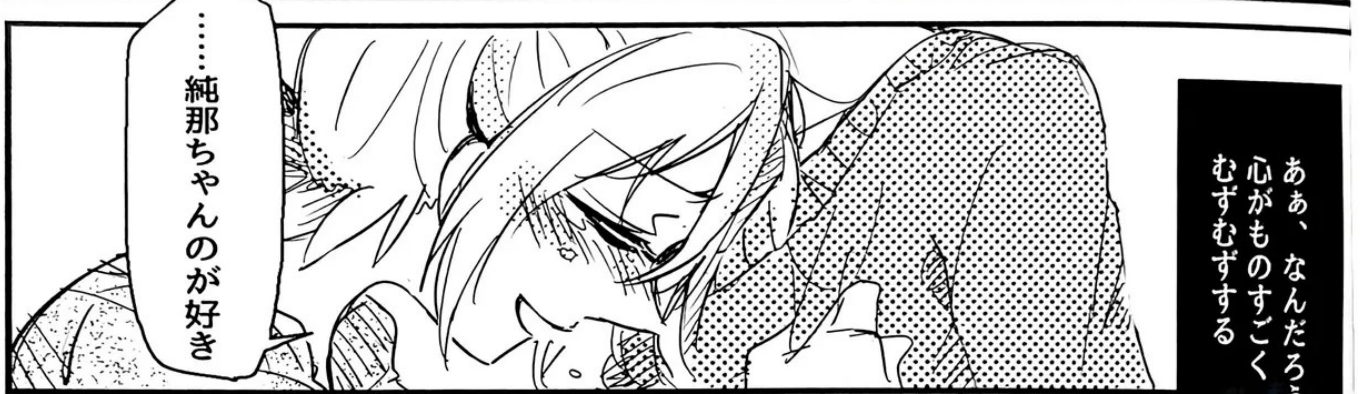
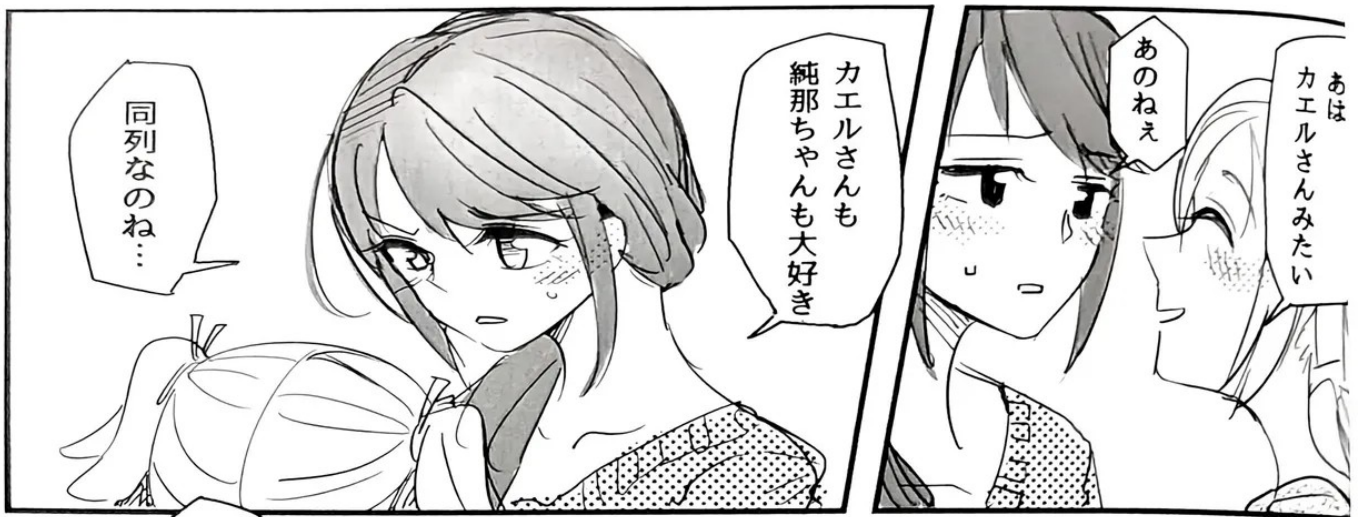












でも、石霍認はする。

これいつまで
残るのかしら...



なんと次の本に続きます。

『私はキミにアトをつけたい』

発行:シガーレス。

印刷:栄光 様

発行日:2018/12/29

・pixiv / 298168

・Twitter /saku_pan_02

・Mail /getlost1731@yahoo.co.jp

禁止:無断転載、無断アップロード、オークション等の転売

125